



校長室の窓から

万寿小学校学校便り24号

R6年9月27日（金）

◎ますサポ主催の防災キャンプの様子を紹介します。

9月21日（土）～22日（日）にかけて、自然災害が起こった場合に避難所となる小学校内で1泊2日の防災キャンプがありました。このキャンプ生活を体験することで、助け合いや協力、そして災害の備えについての理解を深めることなどを目的としています。保護者と児童総勢50名で、体育館や体育館下にテントを設営して、防災キャンプが始まりました。



最初の活動は夕食のカレーブルです。外で飯ごうを使ってご飯を焚きます。同時に調理場でカレーを作ります。子どもたちも保護者の方と一緒に野菜を切ったり、ルーを入れて煮込んだりしました。飯ごうはうまく焚けたところとややごはんが柔らかめのところもありましたが、焦がすことなく、おいしいカレーが出来上がりました。カレーは辛口、甘口の大きい鍋2つ分を準備していましたが、あっという間になくなりました。見事に完食です。



夕食後は防災クイズを行いました。「地震が起こった時に身に着けたらいいものは?」「エレベーターの中ではどうするのか?」「スーパーマーケットで地震が起こった場合には?」など。3択の問題でしたが、高学年の児童でも正解するのが難しかったです。正解した人には景品も用意していました。



最後は「リアル暗夜行路」です。暗夜行路というのはご存知の通り山の学習の時に目隠しをして山の中をロープ一本だけを頼りにゴールまで協力してがんばる活動です。ますサポ防災キャンプのリアル暗夜行路は、校舎の中を懐中電灯で照らしながらゴールまで協力してがんばります。夜の学校は思いの外怖かったようです。チームみんなでスリルを味わいながら楽しく校舎の中を歩くことができました。